

活動報告 2019 年度



ちょっと動いた、私も、社会も。



公益財団法人
ふじのくに
未来財団

ふじのくに未来財団は県民のチカラ。

174個人・団体の発起人寄付

3,289,355円から生まれた

静岡県初の市民コミュニティ財団です。

ふじのくに未来 財団が結びます。



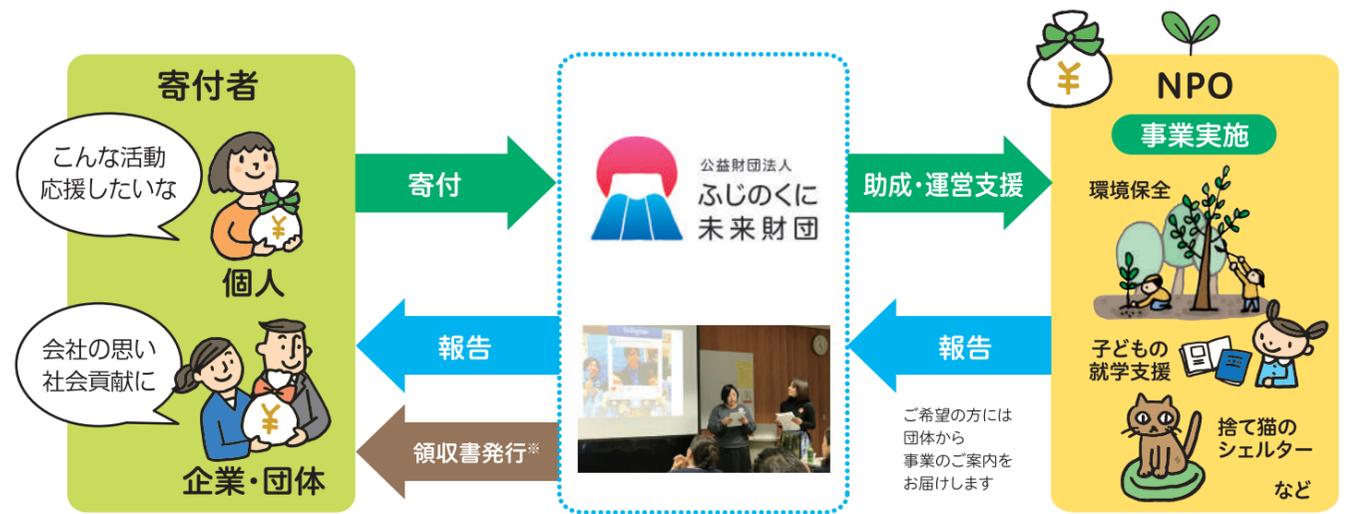
SDGs のことご存知ですか？

SDGs (Sustainable Development Goals エス・ディー・ジーズ) とは、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」です。「2030年世界はこうあってほしい」という姿から設定されている目標で、17の目標（ゴール）と169のターゲットが定められています。

この目標達成にむけて多様な主体による行動が求められており、ふじのくに未来財団もSDGsに取り組んでいます。



お金の流れ 心のこもったお金の流れで社会が変わります



※領収書…確定申告で税制優遇が受けられます。詳細はお問い合わせください。

表紙について

「ちょっと動いた、私も、社会も。」は、2019年度の「SCCしずおかコピー大賞」の「社会貢献したくなるコピー」でふじのくに未来財団賞に選ばれたコピーです。

表紙の写真は、YEC（若者エンパワメント委員会）(p.9)、NPO法人富士ぶどうの会 (p.7)、NPO法人しずおか共有ネット (p.10) の助成事業写真と社会貢献活動体験プログラム (p.14) の活動写真を使わせていただきました。高校生・大学生等の若者たちも活躍しています！！一緒に社会をより良くするために寄付というカタチで最初の一步を踏み出しませんか。



代表あいさつ



代表理事
伊藤 育子

令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的蔓延の最中に幕開けしました。当財団は6期目を迎え、ここに年次報告書をお届けできますことを心より感謝申し上げます。4月7日～5月25日、全国的に出された緊急事態宣言はこれまでの私たちの生活を一変させました。県内NPOを対象に新型コロナによる影響についてアンケート調査を実施した結果、自粛によりNPO等も経済的に深刻な状況にあることが示されました。当財団はNPOによるコロナ対策事業の展開、事業継続の支援助成のために基金を設置すると共に、「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」を県に提出しました。市民コミュニティ財団として果たすべき役割を再認識したところでございます。

県から運営管理を受託する静岡と沼津の両ふじのくにNPO活動センターを通じて、NPO・行政・企業・個人等の皆さまが様々な形で協働し、災害時にも活躍できるよう応援しております。地域資源（人財、知恵、情報、資金）を上手に循環させ、助成財団としての機能を最大限に活用していくようこれからも努力してまいります。次世代に明るい未来を残すため、地域で活躍するNPO等支援のため、引き続きご支援を賜りますことを、心からお願い申し上げます。

組織 2020年8月現在

【評議員】

- 大坪 檀 (学校法人 新静岡学園)
- 鍋倉伸子 (株式会社 戸田書店)
- 松井 隆 (公益財団法人 静岡県コンテナ輸送振興協会)
- 永野英行 (一般社団法人 静岡県信用金庫協会)
- 海野俊也 (株式会社 静岡新聞社)
- 芝 知美 (司法書士法人 芝事務所)
- 太田勝之 (静岡トヨタ自動車 株式会社)
- 東松充憲 (中日新聞・東京新聞 静岡総局)

【代表理事】

伊藤育子 (NPO法人 未来クリエート21)

【副代表理事】

都築直人 (良い広告 株式会社)

【専務理事】

千野和子 (ふじのくにNPO活動センター)

【理事】

- 塚本高士 (公益社団法人 静岡県看護協会)
- 佐藤和枝 (NPO未来化プロジェクト)
- 佐藤賢司 (株式会社 静岡朝日テレビ)
- 宮本 聡 (営業コンサルタント、ファンドレイジングアドバイザー)
- 片桐義晴 (WORD FREAK、コピーライター)
- 木下 聡 (一般社団法人 ローカルSDGsネットワーク)

【監事】

- 加藤與志男 (有限会社 エイブル東海)
- 横地眞澄 (静岡県庁)

スタッフ紹介



ふじのくに未来財団の活動にご理解いただき、ご寄付くださいました皆様

この場をお借りして、お礼申し上げます(2019年4月1日～2020年3月31日)

賛助会員

- 村上 茂之
- 今村 昌弘
- 西山 美紀子
- 竹内 徹
- 倉田 剛
- 鈴木 将仁
- 杉山 みえ
- 神村 明利
- 伊藤 育子
- 佐藤 和枝
- 都築 直人
- 東松 充憲
- 山内 秀彦
- 植松 誠
- 千野 和子
- 川端 務夢
- 塚本 高士
- 河村 浩美
- NPO法人縁
- 株式会社プランニング富士
- 認定NPO法人フリースペース・うえるびー
- 有限会社土屋製作所

冠基金

- 静岡トヨタ自動車株式会社
- シーラック株式会社
- シーラックパル株式会社
- 静岡信用金庫

テーマ指定

- ジヤトコグループゴルフ愛好家一同
- 静岡県労働金庫

団体支援

- 末永 和代
- 中外製薬株式会社
- 株式会社ヤマエイ長島建設
- 株式会社伊藤工務店
- 日星電気株式会社

協賛寄付

- 稲葉 八千代
- 関 敦子
- 岩田 雅子
- 篠崎 留那
- 小林 淳子
- 杉山 芽衣
- 大村 圭子
- 渡邊 定男
- 内山 統子
- 富田 移津子
- 平岡 清香
- 望月 裕子
- 木南 憲一
- 鈴木 麻衣子
- NPO法人地域づくりサポートネット
- 株式会社ユニバンス

- 株式会社静岡朝日テレビ
- 社会福祉法人静和会
- フィットネスデイ丸子の里りはら
- 松崎町立図書館
- 焼津市役所
- 静岡ガス株式会社 静岡支社
- 静岡県くらし・環境部
- 静岡県職員組合県庁支部
- 静岡県職員組合志太榛原支部
- 静岡県職員組合静岡支部
- 静岡県職員組合中遠支部
- 静岡県職員組合東部支部
- 静岡県立浜松南高等学校
- 静岡県立浜北西高等学校
- 静岡信用金庫
- 大和ハウス工業株式会社 浜松支店
- 特別養護老人ホームあおい荘
- 日産プリンス静岡販売株式会社
- 富士市民活動センター「コミュニティ」

自動販売機

- 地方独立行政法人静岡県病院機構
- 医療法人社団静寿会
- 静岡トヨペット株式会社
- カナエ工業株式会社
- 学校法人常葉大学
- 株式会社朝日メディアブレン
- スルガ銀行株式会社

- 社会福祉法人珀寿会特養大富陽光園
- 一般社団法人草薙カルテッド
- 医療法人社団明徳会青翔会
- 星光社印刷株式会社
- 学校法人新静岡学園
- 株式会社戸田書店
- 富士山こどもBASE

財団支援

- 戸谷 雄一
- 大坪 檀
- 小松 寛之
- 近藤 武
- 山本 佳昭
- 小田 育也
- 松永 茂春
- 西元 勇人
- 臼井 明
- 新井 好司
- 株式会社プランニング富士
- 株式会社パートナーズ
- 静岡県遊技業協同組合

(匿名の方を除く・敬称略・順不同)

メディア掲載

日付	内容	媒体
4月 3日	NPOの事務お助け 知識生かし開業2年 情報交換する組織も	朝日新聞
4月 4日	浜松に寄付自販機 NPO法人を支援 ダイドー	中日新聞
5月29日	来月、NPO法人1年生講座 ふじのくに東部NPO活動センター	伊豆日日新聞
5月30日		伊豆新聞
5月31日	NPO法人1年生講座&なんでも相談会	毎日新聞
6月21日	NPO法人1年生が勉強 講座に県東部など16人 東部活動センター	静岡新聞
6月22日		伊豆新聞
6月22日	社会貢献体験参加者を募集	静岡新聞
7月 2日	社会貢献体験参加者を募集 県プログラム	伊豆新聞
8月20日	ふじのくに未来財団の助成金交付事業、5団体の採択が決定	静岡ビジネスレポート
9月12日	伊豆地域市民活動ネット参加者募集	静岡新聞
9月15日	伊豆地域ネット始動へ 市民活動の交流 PRのきっかけに 東部NPO活動センター	伊豆日日新聞
9月17日	伊豆地域ネット始動へ 東部NPO活動センター	伊豆新聞
9月20日	シーラック ふじのくに未来財団に139万を寄付	静岡ビジネスレポート
9月26日	市民活動関係者が交流 伊豆でイベント 7団体取り組み報告	静岡新聞
9月26日	協働し活動活発に 34団体・5個人 市民活動ネット発足	伊豆日日新聞、伊豆新聞
9月26日	市民活動を共有、意見交換	静岡新聞
10月23日	25日に助成金活用講座と相談会 松崎でふじのくに東部NPO活動センター	伊豆新聞
10月26日	助成金申請のポイント 東部NPO活動センター 松崎で講座・相談会	伊豆新聞
11月28日	NPOの会計学が 3日、下田で講座	静岡新聞
12月21日	静岡のチカラプロジェクト	朝日新聞
1月 9日	2地区で市民活動交流会 NPO活動センター	伊豆新聞
1月14日	ボランティア活動 高校5団体を表彰 静岡、福祉向上など	静岡新聞 ②
1月27日	2町で交流会 参加者を募集 東部NPO活動センター	伊豆新聞
1月30日	堆肥開発と普及でボランティアアワード 富士宮高校会議所が報告	静岡新聞
2月 5日	NPOや市民活動なんでも相談会 21日、下田	静岡新聞
2月 6日	松崎発祥のボンカン収穫 「魅力発見まちあるき」 なまこ壁街並み見学も	伊豆新聞
2月11日	市民活動のための法務あれこれ 20日、司法書士による相談会	沼津朝日新聞
2月15日	「どこの築城石? 刻印は?」 伊豆地域市民活動ネット 港町・稲取の魅力体感	伊豆日日新聞、伊豆新聞
2月19日	ふじのくに財団に売り上げ一部寄付 県遊技業協組	静岡新聞



①伊豆新聞本社使用許諾済み



②写真提供 静岡新聞社 静岡新聞社編集局調査部 使用許諾済み



2018年度 プロジェクト1

富士山の重要な植生・植物の生態と分布調査

団体名: 富士山自然誌研究会(長泉町)

事業費: 504,574円

助成額: 400,000円

実施期間: 2018年8月1日~2019年7月31日

概要: 富士山全域の植生、植物種の生態・分布調査を1年間実施し、現状と課題を明らかにして今後の保全対策の基礎資料として活用します。また、富士山域の市民や行政に富士山の自然の多様性が失われている現状を理解してもらえよう、野外観察会やセミナーを行いました。

成果: 富士山の植物相・植生の調査26回、野外観察会参加者(延べ)60名、セミナー参加者35名 調査報告書「富士山火山荒原の花」100部作成

参加者コメント: 富士山の自然を総合的に学べていいと思います。専門者が多いので、質問に的確に答えてくれるのが良いです。

団体コメント: 参加者が富士山全体の自然に目を向け、生態系全体を理解することができました。専門家がお互いに関連しながら「自然から学ぶ」というスタンスが喜ばれていると思います。



15 陸の豊かさも守ろう



2018年度 プロジェクト2

”農村サファリ”で”やすらぎの森”を環境教育モデル施設にバージョンアップ!

団体名: NPO法人複合力(静岡市清水区)

事業費: 826,938円

助成額: 586,000円

実施期間: 2018年7月26日~2019年8月2日

概要: 静岡市清水森林公園「やすらぎの森」の調査や観察会などを行いました。やすらぎの森の散策マップや、生息するカエルの紹介看板と生物を紹介する動物カードを作成しました。

成果: 自然観察会参加者45名、ワークショップ参加者(延べ)31名、散策マップ1000部作成

団体コメント: 散策マップは製作してから数か月で約800部持ち帰っていただけました。今後も環境保全を続け、バージョンアップし続けたいと思います。



15 陸の豊かさも守ろう



2018年度 プロジェクト3

松崎町石部棚田におけるホタルの新たなビオトープネットワーク創出プロジェクト

団体名: 認定NPO法人自然環境復元協会(NAREC)(東京都新宿区)

事業費: 961,955円

助成額: 633,000円

実施期間: 2018年8月1日~2019年8月25日

概要: 石部棚田上流域の調査とホタルの生息できる環境づくり、ホタル頭数調査を行いました。

成果: ホタルの生息環境として、山林エリア1,600㎡の間伐や枝打ちを行い「天敵のクモが生息しにくい環境」「ホタルの産卵場となる苔類が生育しやすい環境」「安定的に水が流れる環境」を整え、棚田エリア80㎡の水路の修繕や外来種除去を行いました。

団体コメント: 2022年までにホタル100頭が生息できることを目指して環境づくりを継続していきたいと思っています。



15 陸の豊かさも守ろう



2018年度 プロジェクト4

障害児者も誰もが一緒に楽しめるファミリーコンサート事業

団体名: NPO法人富士ぶどうの会(富士市)

事業費: 516,792円

助成額: 400,000円

実施期間: 2018年8月1日~2019年6月16日

概要: 誰でも一緒に楽しめて、声を出しても良く、赤ちゃん連れでも参加し交流できるファミリーコンサートを開催しました。普段音楽のコンサートに行く機会のない障害児者も生演奏の音楽を味わえ、一般の方たちと触れ合ったり障害児者のことを知ってもらえたりする機会になりました。

成果: 来場者約430名(うち、車いす来場者11名)

参加者コメント: 演奏を聴いている子どもたち、障害のある子の反応がすごく見ていて感動しました。このようなコンサートをまたやってほしいです。



4 質の高い教育をみんなに



11 住み続けられるまちづくりを



継続中の事業

フードドライブ普及事業

団体名: 認定NPO法人フードバンクふじのくに(静岡市葵区)

助成決定額: 750,000円

ひだまりカフェを拠点とした小学生の学習支援と障がい児者と一緒に行う自然体験・農業体験イベントの実施による交流促進支援事業

団体名: 認定NPO法人フリースペース・うえるびー(島田市)

助成決定額: 500,400円

広葉樹の森を増やそう(広葉樹林化推進事業)

団体名: NPO法人静岡山の文化交流センター(静岡市葵区)

助成決定額: 300,000円

富士山麓ロードキル対策プロジェクト 移動博物館事業

団体名: 富士山アウトドアミュージアム(山梨県富士河口湖町)

助成決定額: 650,000円



クルマは私達の生活において、とても大きな喜びを与えてくれた一方で、環境破壊や交通渋滞など、さまざまな社会問題に直面してきました。

当社は「環境保全」「交通安全」「福祉支援」「防災活動」をテーマに、地域の課題に取り組むNPOの皆様と共に、多くの課題や問題解決に努めていきたいと考えています。

静岡トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長
太田 勝之 様

2018年度 プロジェクト1



学生と乳児親子の世代間交流推進事業

団体名: NPO法人子育てサークルネットしずおか(静岡市葵区)
事業費: 199,144円
助成額: 158,000円
実施期間: 2019年4月1日~2019年12月11日

概要: 中学生と乳児親子とのふれあい交流会を行いました。交流会のボランティアスタッフは事前に研修会を行ってから臨みました。

成果: ふれあい交流会3回/参加者 親子(延べ)67組、生徒(延べ)98名

参加者コメント: 普段高校生と触れ合う機会がないので、とても良い経験になりました。参加できて良かったです。また来年も来たいです。

団体コメント: 参加ママたちが積極的に中学生と関わってくれました。今回の交流がきっかけで、地域の縦のつながりになるのではと思います。



2019年度 プロジェクト1



協住する住まいと暮らし研究会

団体名: ほっと会(藤枝市)
事業費: 301,538円
助成額: 240,000円
実施期間: 2019年9月1日~2020年5月31日

概要: 老後の暮らし方として、親しい人たちと家族のように協同生活する「協住の家」について、個住、協住の比較をしながら学び、意見交換を行いました。

成果: ワークショップ・意見交換会3回、多世代シェアハウスと高齢者住宅の施設見学1回、感想・意見交換会1回 参加者(延べ)122名

参加者コメント: 今後の自分たちの住まい方について考えるきっかけになりました。私には協住は難しいと思いますが、勉強させてもらってよかったです。

団体コメント: 目標だった「協住の家」のモデル作りまでは出来ませんでした。今後は藤枝方式の「協住の家」を研究していきたいと思っています。



2018年度 プロジェクト2



災害時要援護者を対象とした
防災教育プログラムの開発・実施事業

団体名: 静岡ラーニング・ラボ(静岡市駿河区)
事業費: 602,601円
助成額: 250,000円
実施期間: 2019年3月1日~2020年3月31日

概要: 「脅さない防災教育」を目指し、独自の防災紙芝居や防災ゲームを活用して出前授業を11回、防災ブース出展を2回行いました。

成果: 参加者 小学生170名、中学生150名、特別支援学校生徒・職員450名、大学生15名、フランス人留学生20名、ペルー人留学生20名、トルコの教育関係者25名

団体コメント: この助成事業を通して、活動現場にそのままお渡しできる教材やプログラム要項を整えることができ、一過性ではない防災への取り組みが、より後押しされました。



2019年度 プロジェクト2



もうひとつの放課後探しプロジェクト

団体名: YEC(若者エンパワメント委員会)(静岡市駿河区)
事業費: 202,566円
助成額: 145,000円
実施期間: 2019年6月28日~2020年3月31日

概要: 静岡市に通う中高生世代の若者が学校外の時間でやりたいことを実現できるよう、企画から実現までサポートしました。また、中高生世代の若者をサポートするメンバーの質を高めるためにユースセンターを訪問しました。

成果: 7名の中高生が参加し、ファッションショーやお菓子の家づくりなど、7つの企画が生まれました。団体がサポートしながら何度もミーティングや練習を行い、本番を迎えました。

参加者コメント: いろいろな人の協力で物事が成り立っているということを実感しました。また、学校では絶対にできない体験ができました。この経験をこれから活かせるように頑張ります。



継続中の事業

地域の身近な相談室~今、しあわせのために出来る相談事業~
団体名: しずおか権利擁護相談室(静岡市葵区)
助成決定額: 210,000 円

用宗しらすトライアスロン大会 in しずまえ
団体名: しずまえトライアスロン大会実行委員会(静岡市駿河区)
助成決定額: 1,000,000 円



当金庫ではSDGs取組みの態勢を整備し、地域社会の活性化・環境保全に向けた活動を一層強化しております。「せいしん地域のちから基金」は子育て支援・防災教育・特殊詐欺防止等、様々な社会課題解決に向けた有益な取組みにご活用いただいております。今後もこの基金が有効活用され、将来に亘り暮らしやすい地域社会の創造につながることを願っております。

静清信用金庫 理事長
佐藤 徳則 様



静岡朝日テレビ 静岡のチカラ基金
助成決定総額 866,716円 (2019年度)



子育て支援事業
静岡県労働金庫 助成決定総額 555,130円 (2019年度)



2018年度 プロジェクト2

「誰一人取り残さない」中高生向けSDGsプログラムの開発事業

団体名: NPO法人しずおか共育ネット(静岡市葵区)
事業費: 430,554円
助成額: 346,000円
実施期間: 2019年4月1日~2019年12月31日

概要: 将来社会を担う人材となる中高生世代を対象にSDGsについて考える授業プログラムを開発しました。また、静岡市内の3つの中学校でモデル授業を行いました。

成果: モデル授業参加者86名。終了後のアンケートでは、約71%の生徒がSDGsについてもっと知りたいと思ったと回答しました。

生徒コメント: 未来の自分たちが安全で平和に暮らせるように、今から対策をしていかないといけないと思いました。最初は自分では解決しようと思っても手の届かないことだと思っていたけれど、意外と身近にできることがわかったので、できることをしていこうと思いました。

団体コメント: 今回の授業では、SDGsについて初めて知った生徒の割合は約74%でした。中高生世代のSDGs認知度を向上させるために、学校教育の中でSDGsを伝える必要性を感じました。今後授業時間外の社会教育も行うことで、社会の課題を自分事としてとらえ、アクション出来る人材を育てていきたいと思ひます。



継続中の事業

南伊豆町子浦活性化イベント「子浦風待ち縁の日」
団体名: NPO法人伊豆学研究会(伊豆の国市)
助成決定額: 380,000円

未来へ届け! 私たちの夢ロケット!
団体名: 一般社団法人伊豆観光圏活性化協会(熱海市)
助成決定額: 486,716円



シーラックグループ世界遺産富士山を
未来へプロジェクト基金
助成決定総額 1,058,000円 (2019年度)

継続中の事業

身近なスゴイ植物「イソギク」とローカル鉄道「岳南電車」を活用した町おこしプロジェクト
団体名: NPO法人樹木いきいきプロジェクト(富士市)
助成決定額: 1,058,000円



イソギク

継続中の事業

こどもっ家
団体名: NPO法人泉の会
(静岡市清水区)
助成決定額: 412,000円



地域の子どもたちとプロのクリエイターが描く!書く!撮る!
伊豆の国市のローカルマガジン製作プロジェクト
団体名: IZUCCO制作実行委員会(伊豆の国市)
助成決定額: 143,130円



団体支援
助成決定総額 405,000円 (2019年度)

2019年度 プロジェクト1

田中光顕伯爵顕彰展広報事業

団体名: 古谿荘に親しむ会(富士市)
事業費: 541,806円
助成額: 405,000円
実施期間: 2019年5月25日~2019年12月25日

概要: 富士市の国指定重要文化財「古谿荘」と、その建築主である元宮内大臣田中光顕伯爵の一生については、これまで情報が限られており、周知されてきませんでした。田中光顕伯爵を調査研究する中で、日本近代社会を築き、文化芸術の保護や振興をしてきたことが判明したため、その功績を顕彰する展示会を開催しました。

成果: 来場者(延べ)1,003名(会期4日間)

参加者コメント: 地元でこのような人物が居たことや重要文化財が存在していることを初めて知り、誇りに思いました。もっといろいろな方に周知していきたいと思ひます。幕末から明治の歴史を知る機会になりました。よく調べられていると思ひました。

団体コメント: 来場者が想定の数よりも、告知の成果が出たと思ひます。大変熱心に見ていただいたようで、多くの質問をいただきました。また、来場できなかった方からも行きたかった、もう少し長くやってほしかったとの意見がありました。来ていただいた方には功績をかなり理解していただけたと思ひます。今後は、今回制作したパネルの再利用を検討して講演活動や簡易展示会を企画したり、所有者や文化庁、県や市に対して古谿荘を活用できるよう提案したりしていきたいと思ひます。



さまざまな寄付のカタチ

ネイチ 2019

今年も開催された年に一度の交流の場、ネイチ2019では52名の方々にご参加いただきました。提供していただいた景品で大じゃんけん大会を行うなど、楽しい時間を皆様と共有できました。今後も、交流の場を提供して多様な立場の方々が繋がるお手伝いをしていきたいと思っております。



書き損じハガキ・切手

余った年賀状やハガキ・書き損じハガキ、未使用の切手を送っていただき、換金して寄付とさせていただきます。2019年度は、256枚15,195円分の寄付をいただきました。



寄付付き自販機

自動販売機で飲料を購入するだけで、気軽に寄付をすることができます。以下の県内各所・組織に設置していただいております。(敬称略)

- ・ダイドードリンコ自動販売機
 - 静岡県立総合病院(静岡市葵区)
 - 静寿会シーサイド浜当目(焼津市)
 - 静岡トヨペット(株)掛川店(掛川市)
 - カナエ工業(株)(富士宮市)
 - 常葉大学静岡草薙キャンパス(静岡市清水区)
 - 静岡トヨペット(株)本社(静岡市葵区)
 - (株)朝日メディアプレーン(静岡市葵区)
 - スルガ銀行(株)東静岡支店(静岡市葵区)
 - (社福)珀寿会特養大富陽光園(焼津市)
 - 静岡県浜松内陸コンテナ基地(浜松市)
 - 草薙カルテッド草薙駅北口(静岡市清水区)
 - 静岡医療専門学校(静岡市駿河区)
 - 星光社印刷(株)(静岡市駿河区)
 - 静岡産業大学(藤枝市)



- ・コカ・コーライーストジャパン自動販売機
 - 戸田書店富士店(富士市)
 - 富士山こどもBASE(富士宮市)

2019年度は、総額296,874円の寄付をいただきました。

寄付付き商品

商品を購入することで、売り上げの一部を寄付することができます。今年度も新たな寄付付き商品が誕生しました。(敬称略)

New

1. 株式会社杏林堂薬局 × 株式会社マール神戸屋
 - ・杏林堂薬局の創業120周年記念寄付付きパン(静岡県内84店舗の杏林堂薬局で2020年3月1日～8月31日まで販売)



継続

3. 静岡トヨタ自動車株式会社
 - ・ハイブリッド車種24種



4. 静岡信用金庫
 - ・せいしん定期預金 「SDGs応援定期預金 GOALS」
 - ・せいしん定期預金 「SDGs応援定期預金 GOALSII」
5. シーラック株式会社
 - ・「バリ勝男くん。」静岡おみやげ編シリーズ
6. シーラックパル株式会社
 - ・連泊のお客様の「リネン未交代代」

ぼぼん・チャリボン

家庭で眠っている本やCD、DVD、ゲームを寄付すると買取相当額がふじのくに未来財団へ寄付されます。いただいた寄付は当財団が実施する公益事業や災害支援に活用させていただきます。

2019年度は、68件108,804円の寄付を公益事業に使わせていただきました。



災害支援基金

ふじのくに新型コロナウイルス対策緊急支援基金を設立しました。

新型コロナウイルスの影響によって生まれた社会課題に対し、NPOや市民活動団体が取組む活動を支援します。

人材育成とふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

人材育成

- ・NPOや中間支援スタッフ等の人材育成研修開催(FNC業務内)
- ・助成事業プログラムオフィサー研修参加(1月10日～11日 日本財団ビル)
- ・災害時における中間支援組織の12の役割(スタンダード)研修参加(10月28日 国立オリンピック記念青少年総合センター・センター棟)



ソーシャルビジネス支援ネットワーク

静岡県信用保証協会、日本政策金融公庫(静岡支店、浜松支店、沼津支店)、静岡信用金庫、静岡県、当財団の5機関が連携し、主に創業期から成長期にあるソーシャルビジネスを営む方をワンストップで支援するネットワークです。

- ・社会起業家向け法人設立・資金調達相談会開催(6/19, 8/7, 10/9, 12/4, 1/16)
- ・ネットワーク連絡会議開催(4/17, 8/7, 12/4)



連携・協働

講師・委員派遣

- ・焼津市市民公益活動事業補助金審査員
- ・藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員
- ・掛川市協働まちづくり発表会コメンテーター
- ・沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー
- ・子どものための日本語学習支援基金運営委員
- ・南海トラフ等巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員

会員

- ・全国NPO事務支援カンファレンス
- ・NPO法人会計基準協議会
- ・(一社)全国コミュニティ財団協会
- ・(一社)全国レガシーギフト協会加盟団体
- ・しずおか防犯まちづくり県民会議

2019年度 寄付贈呈式

2019年
4/18



静岡トヨタ自動車株式会社 様

2019年
9/14



シーラックグループ 様

2019年
11/20



静岡信用金庫 様

2019年
12/4



静岡県労働金庫 様

2020年
2/18



静岡県遊技業協同組合 様

2020年
3/23



静岡信用金庫 様

ふじのくにNPO活動センター・ふじのくに東部NPO活動センター 運營業務



ふじのくにNPO活動センター・ふじのくに東部NPO活動センターとは
NPOの自立と活動の充実を促進し、県民や企業など多様な主体による協働に支えられる豊かな地域づくりを目指して静岡県が設置し、ふじのくに未来財団が運営しています。

1 中間支援人材の育成

市町NPO活動センターや県内で中間支援業務などに携わるスタッフを対象に集合研修(①~④)やOJT型研修を実施しました。

- ①NPOセンターと中間支援
- ②社会貢献活動参加のすそを広げるために~NPO事業の評価とは?
- ③SDGsと非営利組織
- ④災害時の協働コーディネート



2 NPO活動の支援

NPOや行政、企業等からの相談・問合せ件数は1年間で1,028件。

市民活動センターが未設置地域のNPOに対しては出張相談会、会計講座などの支援を実施しました。認定取得を目指すNPO法人には、認定取得の際に必要な環境整備や書類作成などのサポートをしました。また、休眠預金活用・説明会を県内3か所で開催しました。



3 伊豆地域市民活動ネットワーク

2019年9月、交流や情報交換・協働による活動を目的に、伊豆地域で市民活動ネットワークが立ち上がりました。

「つながる」「学びあう」「発信する」をテーマとして、講座・セミナー・交流会の開催(キックオフミーティング、プレスリリース講座、まち歩き等)や、SNSを活用した活動情報の発信・共有等を行っています。



4 社会貢献活動体験プログラム

社会貢献活動に関する理解・関心を高め、活動をはじめるとききっかけづくりを行うことを目的にNPOが実施する社会貢献活動を体験するプログラムを実施しました。

参加者からは「初めて社会貢献活動に参加しましたが、人の役に立ててとても嬉しかったです。これからも参加していきたいです」という感想が寄せられ、団体からは「みんな自主的に動いたり、アイデアを出したりしてくれて本当に助かった」「継続的に関わってほしい」という感想をいただきました。

ガイダンス 各地で4回開催
体験メニュー 18事業延べ48回
ガイダンス参加・メニュー体験者 延べ126名



5 静岡県ハイスクールボランティアアワード

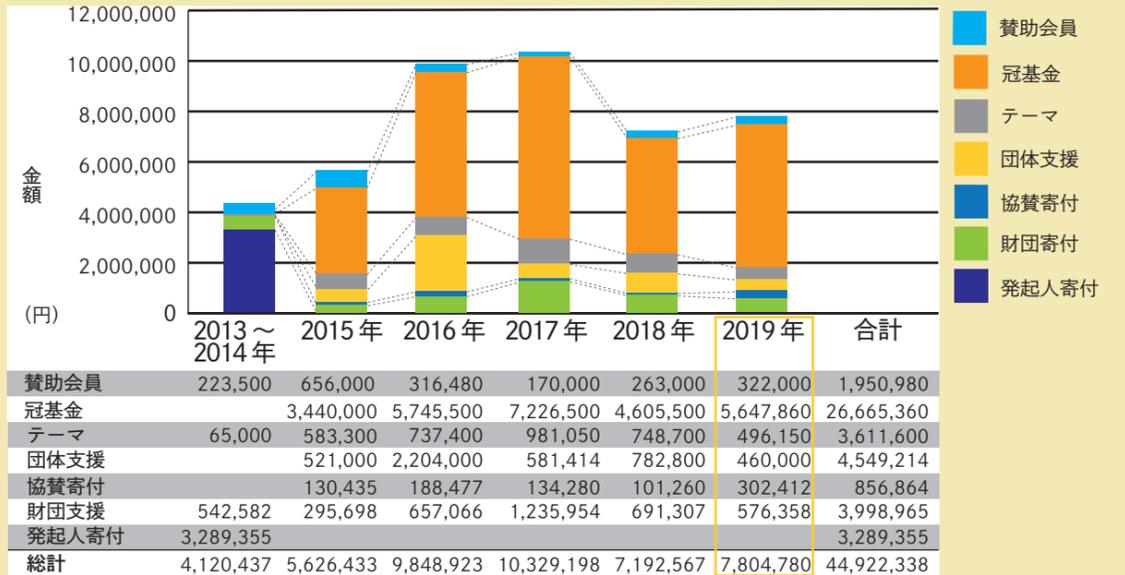
地域・社会のために日頃一生懸命活動されている高校生の皆さんを称える「静岡県ハイスクールボランティアアワード」を、今年度も開催しました。

グランシップで行われた活動発表・アワード受賞式では、5団体の皆さんにアワードと協賛企業からの副賞が授与されました。また、参加者全員がボランティア活動への理解を深め、お互いの活動を称え合いました。



会計報告

寄付金の内訳と推移



(単位:円)

貸借対照表

令和2年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	3,106,082	未払金	2,303,372
未収金	305,000	預り金	661,933
前払費用	46,000	未払消費税	647,000
流動資産合計	3,457,082		
2. 固定資産		負債合計	3,612,305
基本財産	3,000,000	III 正味財産の部	
特定資産	8,246,394	1. 指定正味財産	11,246,394
その他固定資産	86,000	2. 一般正味財産	-69,223
固定資産合計	11,332,394	正味財産合計	11,177,171
資産合計	14,789,476	負債及び正味財産合計	14,789,476

正味財産増減計算書

平成31年4月1日~
令和2年3月31日

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
運用益	366	378	-12
受取会費	322,000	263,000	59,000
事業収益	28,492,234	34,974,092	-6,481,858
受取寄附金	5,152,893	7,631,684	-2,478,791
雑収益	49	134,641	-134,592
経常収益計	33,967,542	43,003,795	-9,036,253
(2) 経常費用			
事業費	34,051,909	42,662,819	-8,610,910
管理費	527,623	598,676	-71,053
経常費用合計	34,579,532	43,261,495	-8,681,963
当期一般正味財産増減額	-611,990	-257,700	-354,290
一般正味財産期首残高	542,767	800,467	-257,700
一般正味財産期末残高	-69,223	542,767	-611,990
II 指定正味財産の部			
当期指定正味財産増減額	2,329,887	-702,117	3,032,004
指定正味財産期首残高	8,916,507	9,618,624	-702,117
指定正味財産期末残高	11,246,394	8,916,507	2,329,887
III 正味財産期末残高			
	11,177,171	9,459,274	1,717,897

※正式な活動、会計報告は、公式HPの「情報公開」ページでご覧いただくことができます。

Join us!

「地域社会のために何かしたい」という
あなたの思い、カタチにしませんか？



賛助会員および寄付のお願い

ふじのくに未来財団が
静岡県の地域課題解決に貢献し続けられますよう、
応援をお願いします。

🏠 賛助会費の用途

全額、当財団の運営経費として活用させていただきます。
賛助会費 個人 3,000円 団体 10,000円

🏠 当財団の賛助会費・寄付は税制優遇の対象となります。

🏠 特典

- ・社会貢献情報や財団の事業・報告書などの情報をお送りします。
- ・ご希望に応じ、社会貢献をはじめ NPO 活動や事務などの個別相談の機会をご提供します。

【お申込み方法】

- ① ゆうちょ銀行振込取扱票 ② 銀行振込 ③ 現金
④ オンライン（クレジットカードもご利用いただけます）



※銀行振込・現金の場合は、賛助会員申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお送りください。「賛助会員申込書」は当財団のウェブサイトからダウンロードしていただけます。

【振込先口座番号】

- 口座名義：公益財団法人ふじのくに未来財団
フリガナ：ザイ) フジノクニミライザイダン
- 🏠 ゆうちょ銀行 二三八支店 普通 5107026
(ゆうちょ銀行からは 記号 12300 番号 51070261)
 - 🏠 静岡信用金庫 本店営業部 普通 0274793
 - 🏠 静岡銀行 駅南支店 普通 0915832
 - 🏠 静岡県労働金庫 本店営業部 普通 4502910

テーマや基金名を自由に設定

冠基金 (100万円以上)



応援したい地域課題がある

テーマ指定寄付



災害支援をしたい

災害支援基金

(新型コロナウイルス対策緊急支援基金)



応援したい団体がある

団体指定寄付



財団を応援したい

財団支援寄付



遺産を静岡の未来に

遺贈寄付



お香典・お花料

で寄付する



お気軽にお問い合わせください

TEL 054-665-8005



公益財団法人
ふじのくに未来財団

Fujinokuni Future Foundation

〒422-8076 静岡市駿河区八幡一丁目 2-21 KK ビル 101
TEL 054-665-8005
FAX 054-333-5481
✉ info@shizuokafund.org
ホームページ <http://www.shizuokafund.org>



ホームページ

【運営受託】

ふじのくに NPO 活動センター
(静岡県)

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-1
水の森ビル 2階
TEL 054-260-7601 FAX 054-260-7603

ふじのくに東部 NPO 活動センター
(静岡県)

〒410-0801 沼津市大手町 1 丁目 1-3
沼津産業ビル (旧 沼津商連会館ビル) 3階
TEL 055-951-8500 FAX 055-952-1433

✉ fnc@shizuokafund.org

FNC
Fuji no kuni NPO Center



Facebook ページ

FNC
Fuji no kuni NPO Center



Facebook ページ